

## 平成28年度施策評価調書

整理番号	17
評価担当課	農務課・耕地林務課
職・氏名	

### 1 施策の名称等

施策名(基本事業)	収益性の高い農業経営の確立(4-1-1)		
総合計画の位置づけ	基本目標	4	創造力と活力にあふれたまちづくり(産業振興)
	主要施策	1	農業・農村の振興

### 2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	農畜産物の安定的な生産を基本に、生産性の向上により収益性の高い農業経営の確立をめざし、生産基盤の整備等を実施する。また、計画・持続的に整備等が実施されるよう農業者負担の軽減を図る。 併せて、農業経営に被害を与える有害鳥獣の駆除と適正な処分を行う。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	生産基盤の整備については、農業者と国や道等の関係機関と連携をはかり、補助事業を活用し圃場の大区画化や透水性を高めるための暗渠排水事業を実施。また、農業水利施設の長寿命化対策等も行っている。 有害鳥獣駆除については、名寄市有害鳥獣農業被害防止対策協議会が設置され、狩猟・処分が行われている。
施策の課題	農業者の高齢化と後継者不足もあり、農業者一軒当たりの経営面積が大きくなり、且つ耕作地が飛び地となり作業効率が低下する傾向にあり、計画的な基盤整備と新技術の導入が必要。また、農業用施設の老朽化が進んでいることや、外来生物の導入が目撃されていることから農業経営の持続発展を阻害する恐れがある。

### 3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H25	H26	H27	目標年度(年度)
基盤整備実施面積	区画整理・暗渠排水事業実施面積(ha)	目標値	7.6	58.4	27.1	
		実績値	7.6	58.4	27.1	
		進捗率	100%	100%	100%	
エゾシカ捕獲頭数	従事登録者によるエゾシカ捕獲総数(頭)	目標値	422	330	354	
		実績値	422	330	354	
		進捗率	100%	100%	100%	
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				

### 4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	農業者・関係機関と連携して生産性の高い農業経営の確立に向け、着実に事業を実施している	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

農業者・関係機関と連携を図り、補助事業を活用し計画的な基盤整備を実施して、収益性の高い農業経営の確立をめざす。また、有害鳥獣農業被害防止対策協議会に対し支援を行い、食害等の被害を防止に努める。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H27年度実施事業

事業番号	事務事業名	事業の概要	H27決算額	1次評価						外部評価	2次評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	経営体育成基盤整備事業(名寄地区)	区画整理や暗渠排水事業等を実施する農業者を支援する	0								
2	国営造成施設管理体制整備促進事業	多面的機能を有する農業水利施設の維持保全等を実施する団体を支援	44,835								
3	経営体育成基盤整備事業(農業経営高度化支援)	高度な経営体の育成をめざし、生産基盤の整備と担い手育成活動を支援	3,124								
4	経営体育成基盤整備事業(風連東第1地区)	区画整理や暗渠排水事業等を実施する農業者を支援	0								
5	経営体育成基盤整備事業(風連東第2地区)	区画整理や暗渠排水事業等を実施する農業者を支援	0								
6	基幹水利施設ストックマネジメント事業(忠烈布地区)	公益性の高い基幹水利施設等の効用が適正に発揮されるよう管理団体を支援	4,592								
7	有害鳥獣駆除対策事業	有害鳥獣による農業被害防止のため市有害鳥獣農業被害防止対策協議会を支援	10,653	a	a	a	a	a	A	A	A

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

--

平成28年度事務事業評価調査

整理番号	17	枝番	1
評価担当課・係・職名・氏名	耕地林務課 管理係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	経営体育成基盤整備事業(名寄東地区)			
総合計画の位置づけ	① 無	基本目標	4	創造力と活力にあふれたまちづくり
		主要施策	1	農業・農村の振興
		基本事業	1	収益性の高い農業経営の確立
		実施計画事業	1	農業生産基盤の整備・保全

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	洪水時における流況阻害をなくし、用水取水量の安定供給と土地利用型農業の確立を図る			
対象(何を又は誰を)	受益農業者			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	食料供給基盤強化特別対策事業の期間において、受益者の負担を軽減する 通称:RPU事業 H27からは、促進費単独型を活用(改良区が申請等を行う)			
意図(どのような成果を期待しているか)	生産性の向上と、安定した水稻経営を図る			
事業実施主体	北海道			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等
事業実施期間	始期	20年度	終期設定	①(終期 29年度) ・ 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位	H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)
			目標	実績			
活動指標	1						
	2		国庫補助事業のため評価対象外				
	3						
1							
成果指標	2		目標				
			実績				

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳
事業費	10,941	29,530	0	0	
国道支出金	5,465	14,666			
地方債	5,400	14,700			
その他					
一般財源	76	164			
人件費	668	663	0	0	
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244	
担当職員数	0.10	0.10			
総事業費	11,609	30,193	0	0	
対前年比(%)	—	260	0	#DIV/0!	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1				
	活動指標2				
	活動指標3				

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 ( )

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性		
市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？		
有効性		
目的を達成するための方法として有効か？		
効率性		
経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？		
公平性		
受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？		
達成度		
活動指標、成果指標の達成度は？		

5 1次評価

評価結果	理由	
A:現状のまま継続		
B:進め方を改善	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
C:規模・内容を見直し		
D:抜本的な見直し(廃止・縮小)		

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等

平成28年度事務事業評価調査

整理番号	17	枝番	2
評価担当課・係・職名・氏名	耕地林務課 管理係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	国営造成施設管理体制整備促進事業			
総合計画の位置づけ	有 ・ 無	基本目標	4	創造力と活力にあふれたまちづくり
		主要施策	1	農業・農村の振興
		基本事業	1	収益性の高い農業経営の確立
		実施計画事業	1	農業生産基盤の整備・保全

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	水源の涵養や洪水防止など多面的機能を有する農業水利施設の操作技術の習熟と操作体制の整備、地域住民等の管理参加と組織化。施設機能の維持保全と長寿命化を図ることや水管理に係る担い手の確保			
対象(何を又は誰を)	土地改良区			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	施設管理・維持経費等の補助			
意図(どのような成果を期待しているか)	農業水利施設の機能発揮			
事業実施主体	てしおがわ土地改良区			
事業実施方法	直 営	一部委託	全部委託	補助等 (有)
事業実施期間	始期	17 年度	終期設定	(有) (終期 29 年度) ・ 無
根拠法令・条例等	国営造成施設管理体制整備促進事業実施要綱等			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)	
				目標	実績				
活動指標	1								
	2	国庫補助事業のため評価対象外							
	3								
成果指標	1								
成果指標	2								

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳
事業費	38,310	39,823	44,845	39,406	
国道支出金	28,732	29,867	33,632	29,532	
地方債					
その他					
一般財源	9,578	9,956	11,213	9,874	
人件費	668	663	649	624	
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244	
担当職員数	0.10	0.10	0.10	0.10	
総事業費	38,978	40,486	45,494	40,030	
対前年比(%)	—	104	112	88	
事業コスト	活動指標1				
	活動指標2				
	活動指標3				

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 ( )

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性		
市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？		
有効性		
目的を達成するための方法として有効か？		
効率性		
経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？		
公平性		
受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？		
達成度		
活動指標、成果指標の達成度は？		

5 1次評価

評価結果	理由	
A:現状のまま継続		
B:進め方を改善	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)		

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等

平成28年度事務事業評価調査

整理番号	17	枝番	3
評価担当課・係・職名・氏名	耕地林務課 管理係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	経営体育成基盤整備事業(農業経営高度化支援)			
総合計画の位置づけ	① 無	基本目標	4	創造力と活力にあふれたまちづくり
		主要施策	1	農業・農村の振興
		基本事業	1	収益性の高い農業経営の確立
		実施計画事業	1	農業生産基盤の整備・保全

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	高度な経営体の育成をめざす地区に限定し、生産基盤の整備と一体に実施する担い手育成活動を支援する			
対象(何を又は誰を)	経営体育成基盤整備事業実施地区			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	事業推進に向けた経費削減			
意図(どのような成果を期待しているか)	事業の推進を図るため			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	直 営	一部委託	全部委託	①補助等 請負 その他( )
事業実施期間	始期	18 年度	終期設定	①(終期 32 年度) ・ 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)	
				目標	実績	目標	実績	目標	実績
活動指標	1								
	2	国庫補助事業のため評価対象外							
	3								
成果指標	1								
成果指標	2								

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳
事業費	4,133	6,305	3,124	4,877	
国道支出金	2,200	2,750	1,100	1,870	
地方債					
その他					
一般財源	1,933	3,555	2,024	3,007	
人件費	668	663	649	624	
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244	
担当職員数	0.10	0.10	0.10	0.10	
総事業費	4,801	6,968	3,773	5,501	
対前年比(%)	—	145	54	146	
事業コスト	活動指標1				
	活動指標2				
	活動指標3				

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 ( )

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性		
市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？		
有効性		
目的を達成するための方法として有効か？		
効率性		
経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？		
公平性		
受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？		
達成度		
活動指標、成果指標の達成度は？		

5 1次評価

評価結果	理由	
A:現状のまま継続		
B:進め方を改善	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)		

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等



平成28年度事務事業評価調査

整理番号	17	枝番	4
評価担当課・係・職名・氏名	耕地林務課 管理係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	経営体育成基盤整備事業(風連東第1地区)			
総合計画の位置づけ	有・無	基本目標	4	創造力と活力にあふれたまちづくり
		主要施策	1	農業・農村の振興
		基本事業	1	収益性の高い農業経営の確立
		実施計画事業	1	農業生産基盤の整備・保全

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	不良沈下による滞水により、機能低下が生じている用水路を改修し、農作物の湿害を解消する。併せて、区画整理や暗渠排水事業を実施し、農業経営の安定化を図る			
対象(何を又は誰を)	受益農業者			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	食料供給基盤強化特別対策事業の期間において、受益者の負担を軽減する 通称:RPU事業 H27からは、促進費単独型を活用(改良区が申請等を行う)			
意図(どのような成果を期待しているか)	収益性の向上及び安定生産をめざした水田農業を推し進める			
事業実施主体	北海道			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等
事業実施期間	始期	26年度	終期設定	有(終期 30年度) ・ 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位	目 標 実 績	H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)
				活動指標	1	ha		
	2							
	3							
成果指標	1							
	2							

国庫補助事業のため評価対象外

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳
事業費	0	1,174	0	0	
国道支出金		587			
地方債		500			
その他					
一般財源		87			
人件費	0	0	0	0	
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244	
担当職員数					
総事業費	0	1,174	0	0	
対前年比(%)	-	#DIV/0!	0	#DIV/0!	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1				
	活動指標2				
	活動指標3				

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 ( )

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性		
市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？		
有効性		
目的を達成するための方法として有効か？		
効率性		
経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？		
公平性		
受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？		
達成度		
活動指標、成果指標の達成度は？		

5 1次評価

評価結果	理由	
A:現状のまま継続		
B:進め方を改善	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)		

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等

平成28年度事務事業評価調査

整理番号	17	枝番	5
評価担当課・係・職名・氏名	耕地林務課 管理係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	経営体育成基盤整備事業(風連東第2地区)			
総合計画の位置づけ	①	基本目標	4	創造力と活力にあふれたまちづくり
	無	主要施策	1	農業・農村の振興
		基本事業	1	収益性の高い農業経営の確立
		実施計画事業	1	農業生産基盤の整備・保全

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	不良沈下による滞水により、機能低下が生じている用水路を改修し、農作物の湿害を解消する。併せて、区画整理や暗渠排水事業を実施し、農業経営の安定化を図る			
対象(何を又は誰を)	受益農業者			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	農業経営高度化支援事業(促進費単独型)において、受益者の負担を軽減する			
意図(どのような成果を期待しているか)	収益性の向上及び安定生産をめざした水田農業を推し進める			
事業実施主体	北海道			
事業実施方法	直 営	一部委託	全部委託	①補助等 請負 その他( )
事業実施期間	始期	27 年度	終期設定	①(終期 31 年度) ・ 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)	
				目標	実績				
活動指標	1								
	2	国庫補助事業のため評価対象外							
	3								
成果指標	1								
成果指標	2								

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳
事業費	0	0	0	0	
国道支出金					
地方債					
その他					
一般財源					
人件費	0	0	0	0	
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244	
担当職員数					
総事業費	0	0	0	0	
対前年比(%)	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1				
	活動指標2				
	活動指標3				

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 ( )

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性		
市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？		
有効性		
目的を達成するための方法として有効か？		
効率性		
経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？		
公平性		
受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？		
達成度		
活動指標、成果指標の達成度は？		

5 1次評価

評価結果	理由	
A:現状のまま継続		
B:進め方を改善	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)		

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等

平成28年度事務事業評価調査

整理番号	17	枝番	6
評価担当課・係・職名・氏名	耕地林務課 管理係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	基幹水利施設ストックマネジメント事業(忠烈布地区)			
総合計画の位置づけ	① 無	基本目標	4	創造力と活力にあふれたまちづくり
		主要施策	1	農業・農村の振興
		基本事業	1	収益性の高い農業経営の確立
		実施計画事業	1	農業生産基盤の整備・保全

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	大規模で公益性の高い基幹水利施設及び基幹水利施設と一元管理を行う幹線用排水路を、農業情勢及び社会経済情勢の変化に対応した管理を行い、その効用を適正に発揮させる			
対象(何を又は誰を)	受益農業者			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	食料供給基盤強化特別対策事業の期間において、受益者の負担を軽減する 通称:RPU事業 5年間 H23～H27 H28から農業競争力強化基盤整備(VPU)事業に引継ぎ			
意図(どのような成果を期待しているか)	施設の機能低下防止と予防保全			
事業実施主体	北海道			
事業実施方法	直 営	一部委託	全部委託	①補助等 請負 その他( )
事業実施期間	始期	25 年度	終期設定	①(終期 29 年度) ・ 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)
				目標	実績			
活動指標	1							
	2	国庫補助事業のため評価対象外						
	3							
成果指標	1							
成果指標	2							

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳
事業費	6,179	8,294	4,592	3,630	
国道支出金	5,097	4,147	2,291	1,810	
地方債	300	4,100	2,300	1,800	
その他	772	0			
一般財源	10	47	1	20	
人件費	668	663	649	624	
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244	
担当職員数	0.10	0.10	0.10	0.10	
総事業費	6,847	8,957	5,241	4,254	
対前年比(%)	-	131	59	81	
事業コスト					
活動指標1					
活動指標2					
活動指標3					

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 ( )

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性		
市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？		
有効性		
目的を達成するための方法として有効か？		
効率性		
経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？		
公平性		
受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？		
達成度		
活動指標、成果指標の達成度は？		

5 1次評価

評価結果	理由	
A:現状のまま継続		
B:進め方を改善	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)		

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等

平成28年度事務事業評価調査

整理番号	17	枝番	7
評価担当課・係・職名・氏名	経済部農務課		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	有害鳥獣駆除対策事業			
総合計画の位置づけ	① ・ 無	基本目標	4	創造力と活力にあふれたまちづくり
		主要施策	1	農業・農村の振興
		基本事業	1	収益性の高い農業経営の確立
		実施計画事業	1	農業生産基盤の整備・保全

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	有害鳥獣による農産物の食害等の被害を防止する。			
対象(何を又は誰を)	エゾシカ、アライグマ等の駆除を行う			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	名寄市有害鳥獣農業被害防止対策協議会による対策事業に対して支援を行うとともに、焼却処分場の管理・運営により処分を行う			
意図(どのような成果を期待しているか)	有害鳥獣を駆除することでの農作物被害の防止			
事業実施主体	名寄市有害鳥獣農業被害防止対策協議会			
事業実施方法	直 営    ①一部委託    全部委託    ②補助等    請負    その他(    )			
事業実施期間	始期	H17 年度	終期設定	③(終期    年度)    ④無
根拠法令・条例等	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

活動指標	1	エゾシカ捕獲従事者数 エゾシカ捕獲にあたる従事者登録者数	名	目標	H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (    年度)
				実績	51	51	51	51	
活動指標	2			目標					
		実績							
活動指標	3			目標					
		実績							
成果指標	1	エゾシカ捕獲頭数 従事登録者によるエゾシカ捕獲頭数	頭	目標	422	330	354	350	
		実績		422	330	354			
成果指標	2			目標					
		実績							

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳
事業費	12,742	9,467	10,653	13,610	焼却処分場維持管理運営経費
国道支出金					・需用費 1,585千円
地方債					・施設検査手数料 332千円
その他					・管理運営委託料 2,488千円
一般財源	12,742	9,467	10,653	13,610	・事業補助金 6,248千円
人件費	3,342	3,315	3,245	3,122	
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244	
担当職員数	0.50	0.50	0.50	0.50	
総事業費	16,084	12,782	13,898	16,732	
対前年比(%)	-	79	109	120	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1				
	活動指標2				
	活動指標3				

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 ( )

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性	a	農産物の被害を防止するためには市一円による狩猟捕獲による駆除が必要である
市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？		
有効性	a	毎年の駆除活動により捕獲頭数及び被害状況が減少している。
目的を達成するための方法として有効か？		
効率性	a	捕獲に係る経費及び処理に係る焼却施設の維持管理経費として必要な経費であり実績もあげている。
経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？		
公平性	a	市内一円を対象とした事業であり、受益者において偏りはない
受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？		
達成度	a	毎年の駆除活動により捕獲頭数が減少しており、駆除活動の成果と考えられる。
活動指標、成果指標の達成度は？		

5 1次評価

評価結果	理由	
A	今後も狩猟により有害鳥獣の駆除に取り組む事で、農産物の被害を防ぐことが必要である。	
A:現状のまま継続	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
B:進め方を改善		
C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)		

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	実際の農産物などの被害額を記載しておくといいいのではないかと。また、捕獲したシカ肉の活用なども考えてはどうか。

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり